



新クラスでの生活が始まり、早くも1ヶ月が経ちました。新入園児の子どもたちも今では好きな遊びや、好きな友達ができて笑顔がたくさん見え始めました。初めは緊張した様子も見られましたが、今では慣れてかわいい笑顔を見せてくれます。進級した子どもたちは1つ大きくなったことで自信と意欲が見られます。すすんでお手伝いをしてくれたり、優しく手や声を掛けてくれます。

辺りではにわか木々の緑が目立ち始めました。動くとすぐに汗ばむような日もありますが、今の時期は子ども達ができるだけ元気に外で遊べるような工夫をしています。春の自然を体いっぱい感じながら楽しく過ごしていきたいと思えます。

5月の予定



- 9(木) 音楽指導(幼児)
- 13~17 身体測定
- 13(月) 保健指導(らいおん)
- 15(水) 保育参加・懇談会(くま)
- 17(金) 調理保育(くま)
- 20(月) 体育指導(幼児)
- 23(木) 歯科検診
- 24(金) 誕生日会
- 28(火) 避難訓練
- 29(水) 懇談会(ひよこ)

6月の予定

- 3~7 職場体験(羽2)
- 4(火) 保育参加・懇談会(ぱんだ)
- 6(木) 保健指導(らいおん)
- 7(金) 調理保育(ぱんだ)
- 7(金) 懇談会(うさぎ)
- 11(火) 虫歯予防集会
- 13(木) 音楽指導(幼児)
- 14(金) 懇談会(ぺんぎん)
- 14(金) 手洗い指導(ぱんだ)
- 17~21 身体測定
- 18(火) 体育指導(幼児)
- 19(水) 避難訓練
- 21(金) お誕生日会
- 28(金) 職員会議



表情は  
メッセージ

子育ての中では『感情の交流』はとっても大切。でも「感情を顔に出してはいけない」と、感情を抑えるくせがついていることもありますよね。

「子育て支援 ひだまり通信」高山静子著(チャイルド本社)より

表情を「顔」に出しましょう

小さいときに笑顔のメッセージを受けとった子は、自分に自信がもてます。新しい行動への意欲もぐんぐんわいてきます。わが子にも、よその子にも、『笑顔のメッセージ』をたくさん贈ってあげましょう！

1 赤ちゃんは、新しいことに会った → お母さんの表情を頼りにして、 → その表情を元に行動します。

2 小さな子は、喜びや驚きを感じるとお母さんに共感を求めます。

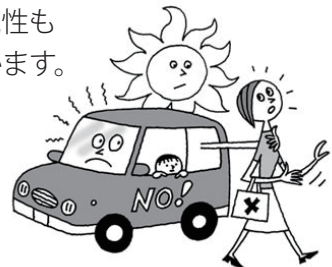
3 振り向いてもいつも知らん顔をされたり、お母さんの表情がわかりにくかったりすると顔を見なくなり、自分勝手に動くようになり、不安でお母さんから離れなくなったりすることもあります。

車内などへの幼児放置、こんなに危険…45度の車内、13分で熱中症

ほかほか陽気が心地よくなるこれからの季節は、止めた車の中に閉じ込められた子供が熱中症になる事故が起きやすい時期でもあります。

名古屋工業大の平田晃正准教授、金沢医科大学の佐々木洋主任教授らのグループのシミュレーション実験によると、屋外の気温が

20℃台後半でも、車内など密閉された空間では45℃に、気温が30℃を超えると50℃に上がることもあるそうです。さらに、自動車内など太陽光が差す気温45℃の環境に3歳児を放置した場合、わずか13分で熱中症(脱水症状)になる可能性もあると警告しています。



熱中症になるまでの時間	温度	3歳児	大人
	45℃	13分	1時間以上
	40℃	17分	1時間以上

3歳児は発汗400g  
大人は2kgで発症

「あなたの行動はOKよ！」  
笑顔は「あなたは大事な子よ」  
「あなたが大好きよ」

というメッセージです。



知ってるようで知らない!?

鯉のぼりの由来



もともと日本では、将軍に男の子が生まれると旗指物(家紋のついた旗)や幟(のぼり)を立てて祝う風習がありました。やがてこれが武家に広がり、男の子が生まれた印として幟を立てるようになります。

その後、江戸庶民の間で鯉の滝登りで立身出世のシンボルとなった鯉を幟にするアイデアが生まれ、武家の幟に対して、町人の中で鯉幟(こいのぼり)が揚げられるようになりました。当時は乳幼児の死亡率が高かったため、健やかな成長を祈る気持ちの表れでもあったのです。

江戸時代は和紙に鯉の絵を描いたものでしたが、大正時代に破れない綿の鯉のぼりとなり、昭和30年代に入ってから合成繊維の鯉のぼりが登場し、広く親しまれるようになりました。

近年はベランダでも揚げられるタイプもあり、インテリア用の鯉のぼりも人気があります。また、鯉のぼりに五色の吹き流しには魔除けの意味が込められています。

